

グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)

足元のイルミナ株の下落要因と
今後の見通しについて



7月11日に当ファンドの組入上位銘柄であるイルミナの2019年第2四半期の決算速報の発表があり、その内容が投資家の予想を下回るものだったことから、7月11日から17日にかけて同社の株価は▲16%超下落しました。これを受け、当ファンドの基準価額も足元で下落しました。

本資料では、足元のイルミナ株の下落要因と今後の見通しについて、当ファンドのマザーファンドの運用に助言を行なうアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(アーク社)からのコメントをもとにお伝えします。

本レポートの内容

1. イルミナの株価下落について

- 7月11日の時間外取引以降、ゲノム解析機器大手イルミナの株価は▲16%超下落

2. 【アーク社の視点】イルミナ株の下落要因と今後の見通しについて

- 2019年第2四半期決算における売上高速報値が市場予想を下回る内容だったことなどが下落の主な要因
- ゲノム解析コスト低減などによる市場の拡大が、同社の業績拡大の追い風に

3. アーク社からのメッセージ

当ファンドの運用状況

＜基準価額の推移＞



基準価額
10,789円
純資産総額
1,066億円
2019年7月17日現在

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

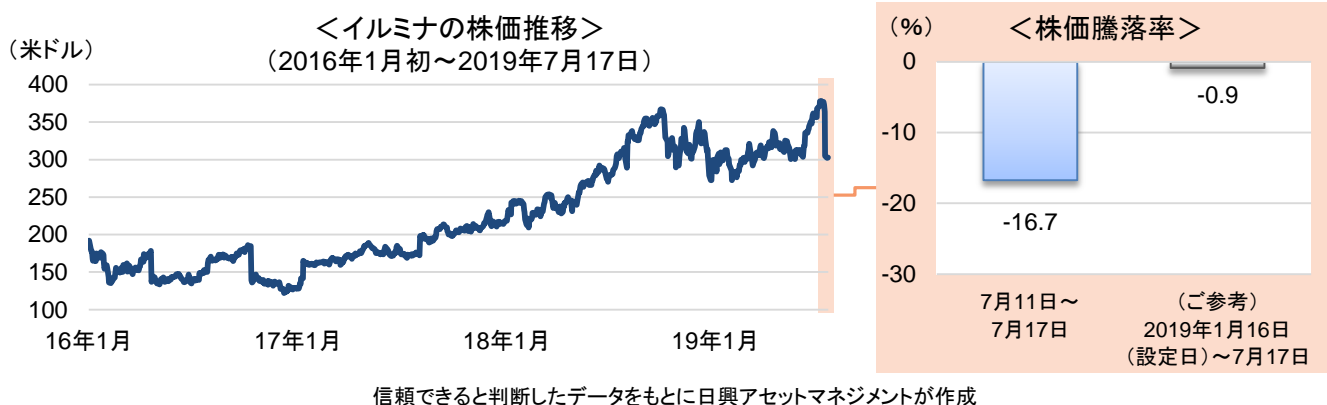
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

イルミナの株価下落について

決算速報の内容を受け、株価が大幅に下落

- 7月11日に発表されたイルミナの2019年第2四半期(4-6月期)の決算速報の内容を受けて、7月11日の時間外取引以降、イルミナの株価は▲16%超と大幅に下落しました。



アーク社の視点

イルミナ株の下落要因と今後の見通しについて

大型商談成立の後ろ倒しなどが、主な要因

- ゲノム解析システムと同消耗品の大型商談の後ろ倒しや、消費者向け直接販売市場の不振、低スループット*のゲノム解析システムの売上不振などを受け、2019年第2四半期売上高(速報値)が市場予想を下回ったほか、2019年通期の売上高目標が下方修正されたことなどが、株価下落の主な要因と考えられます。
- ただし、上記の大型商談の後ろ倒し分については、**2019年下期に計上される見込み**です。
- また、決算速報によると、低スループットのゲノム解析システムと同消耗品の販売は予想を1,000万米ドル程度下回ったものの、**前期比、前年比とも増加**しています。また、**高スループットのゲノム解析システムの出荷は予想を上回る水準**となり、**同消耗品の販売は前年比で100%以上の増加**となりました。

解析コスト低減などによる市場の拡大が、業績拡大の追い風に

- 同社は昨年、ロングリード解析**を得意とするパンフィック・バイオサイエンシズの買収合意を発表しました。**ロングリード解析の市場は2022年までに25億米ドル程度に拡大すると予想されており、この分野での事業拡大が、同社の業績にとって追い風になると期待**されます。
- また、ゲノム解析コストの低減により、ヘルスケア分野などに新たな需要が生み出されることで、**ゲノム解析全体の市場は大きく拡大すると想定**されます。

* スループット:一定時間内に処理できる情報量

** ロングリード解析:塩基配列を短く断片化して読み取る「ショートリード」解析技術と比較して、長い塩基配列を解析する技術

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

上記は、「グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)」のマザーファンドに助言を行なっているアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(アーク社)のコメントをもとに日興アセットマネジメントが作成したものです。当情報は、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

アーク社からのメッセージ



Catherine D. Wood
(アーク創業者、CEO/CIO)

ゲノム革命への投資は
人類の未来への投資です。
このコンセプトに多くの方が
共感いただけたのだと考えると
大変嬉しく思います。

～ 投資家の皆さまへ ～

ゲノム革命は、これから急成長が期待される、多くの方にとって全く新しい未知の分野です。このような分野への投資に不安を感じる方もいらっしゃるかもしれません。実際にゲノム関連企業は中小規模の会社が多く、株価の変動は大きい傾向にあります。しかし、当ファンドのような投資手段を長期的に利用することで、ゲノム関連分野で起こる破壊的イノベーションの波を捉え、将来的にその恩恵を得ることができると考えています。

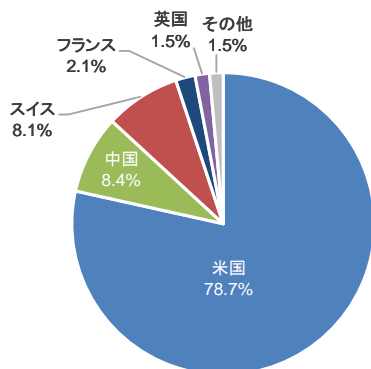
アークの運用は、足元の決算情報だけを分析し、判断するわけではありません。技術の急速な進化に伴う将来の爆発的な成長を予測しながら、市場が無視または過小評価している3-5年間における成長機会に着目しています。伝統的な運用会社とは異なる視点でリサーチしているのです。

ゲノム革命は、まだ市場に正当に評価されていないと考えられる長期のメガトレンドであり、魅力的な投資対象と考えています。私たちは少し先を見据えながら、引き続き投資家の皆さまにご愛顧いただけるよう努めて参ります。

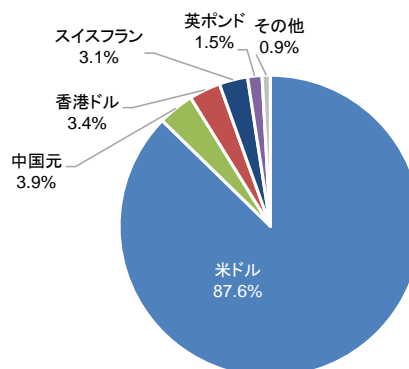
上記は、「グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)」のマザーファンドに助言を行なっているアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(アーク社)のコメントをもとに日興アセットマネジメントが作成したものです。当情報は、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方の見方あるいは考え方を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

ポートフォリオの状況(2019年6月末時点)

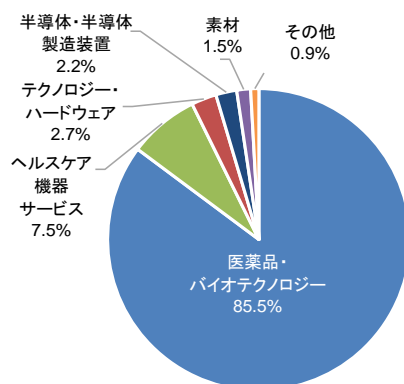
【国・地域別比率】



【通貨別比率】



【業種別比率】



※ 業種名はGICS(世界産業分類基準)に基づきます。

※ 上記はマザーファンドの状況です。比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

【ゲノム分類別比率】

ゲノム分類	比率
1 ゲノム編集(ヒト)	49.0%
2 ゲノム関連ハードウェア(解析・検査機器等)	17.2%
3 ゲノム診断	16.6%
4 ゲノム編集(動植物等)	8.8%
5 バイオインフォマティクス等	8.4%

※「ゲノム分類」はアーク社が考える分類です。

【規模別比率】

規模分類	時価総額	比率
超大型株	500億米ドル以上	22.7%
大型株	100億米ドル以上 500億米ドル未満	13.1%
中型株	20億米ドル以上 100億米ドル未満	31.2%
小型株	20億米ドル未満	33.0%

出所:アーク社

※ 四捨五入などの関係で合計が100%とならない場合があります。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位10銘柄(2019年6月末時点)

(銘柄数:50銘柄)

	銘柄名	通貨	国・地域名	業種	組入比率
1	イルミナ	米ドル	米国	医薬品・ バイオテクノロジー	9.5%
2	CRISPRセラピューティクス	米ドル	スイス	医薬品・ バイオテクノロジー	5.0%
3	インビテ	米ドル	米国	医薬品・ バイオテクノロジー	4.8%
4	リジェネロン・ファーマシューティカルズ	米ドル	米国	医薬品・ バイオテクノロジー	4.3%
5	ブリistol・マイヤーズスクイブ	米ドル	米国	医薬品・ バイオテクノロジー	4.1%
6	エディタス・メディシン	米ドル	米国	医薬品・ バイオテクノロジー	3.9%
7	インテリア・セラピューティクス	米ドル	米国	医薬品・ バイオテクノロジー	3.7%
8	テラドック・ヘルス	米ドル	米国	ヘルスケア機器・ サービス	3.4%
9	ヴェラサイト	米ドル	米国	医薬品・ バイオテクノロジー	3.3%
10	アイオバンス・バイオセラピューティクス	米ドル	米国	医薬品・ バイオテクノロジー	3.2%

※ 上記はマザーファンドの状況です。比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。
 ※ 業種名はGICS(世界産業分類基準)に基づきます。
 ※ 個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
 ※ 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

- 1 主に、世界の株式の中から、ゲノム関連ビジネスを行なう企業およびゲノム技術の恩恵を受ける企業の株式*に投資を行ないます。
* 預託証券を含みます。
- 2 個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。
- 3 年1回、決算を行ないます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みの際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2028年12月7日まで(2019年1月16日設定)
決算日	毎年12月7日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.24%*(<u>税抜3%</u>)以内 * 消費税率が10%になった場合は、 <u>3.3%</u> となります。 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.7712%*(<u>税抜1.64%</u>) * 消費税率が10%になった場合は、 <u>1.804%</u> となります。
その他の 費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※ 運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

(資料作成日現在、50音順)